

くまんち便り

VOL.1 発行者 生物多様性調査研究所「くまんち」

文責 田勢美代子

小雨が心地よい今日この頃、久々の雨にお天道様の恵を感じます。雨不足でカピカピになっていた畑の野菜たちもこれ幸いと根っこからたくさんお水を吸収しているでしょう。

さて、今回創刊号の「くまんち便り」、まずは自己紹介をかねてくまんちの仲間達を紹介したいと思います。

★ツキノワグマのふくまつ君、通称「まっちゃん」は1歳の男の子です。体は大きいですが、心は少年のまま、いや幼児のまま、チュパチュパという奇妙な行動をとります。チュパチュパって何?!と思われる方もいるかと思しますのでここで解説させていただきます。皆さん、「ササ鳴き」という言葉をご存知でしょうか?これは、クマが満足や喜びを表す動作のことをいいます。猫が喜んでのどを鳴らすのと似ているかもしれません。まっちゃんの場合、私の腕をおっぱい代わりに吸っているときにこのササ鳴きをします。「チュパチュパチュパ……」と聞こえるので、くまんちではチュパチュパと呼んでいます。

★次に、犬のまる子ちゃん、8ヶ月の女の子です。通称「吠えない^{けん}犬」。埼玉県出身、母ジョン子と父不明の間に生まれる。最初は男の子と間違われ「大吉」と命名される。まる子との初めての出会いは今年2月、寒さ厳しい真冬の会津へやって来ました。こちらの生活に慣れてきたころ、ふくまつと金網越しに面会をはたし、鼻と鼻とをつきあわせお互いを確認し合いました。ある日、クマ舎の世話部屋の方からふくまつに挨拶にいくと、ナツ、ナント少し大きめのオリの隙間からまる子が中へ……。しばし、固まってしまいました。ところが不思議なことにふくまつとまる子はじゃれあって、時にまる子が激しくふくまつの耳を噛み、楽しげに遊んでいるではありませんか。同じいきもの同士、けんかすると思いついでいるのは人間だけなのかもしれません。

★最後に、新入りうさぎのラッキーちゃん。5歳の女の子。東京出身の都会派。少々病弱で、心疾患を持っています。東京のとある公園に捨てられ、心あるボランティアの方が公園内の鳥小屋でお世話をしていました。しかし、最近体調を崩し、他のうさぎ達とうまくやっていけなくなり里子に出されることに。連れてこられた先は、予想もなかったふくまつとなりのクマ舎。まさかクマとお隣どうしになるとは……。一生出会う事がなかったであろう二人。お互い関心がないのか、それぞれ気ままに過ごしています。

しかし、気をもんでいる方が1匹……。

まる子がラッキーに夢中で、遊びたくて仕方がないのか食べそうな勢いでラッキーに迫っています。一体、何に惹かれているのか……。

今日もつれないラッキーなのでした。

こんな感じで、これからもゆかいな「くまんち」の仲間達の日々の生活をお届けしたいと思います。

【6月の活動報告】

- ★6月13日 「降りていく生き方」映画鑑賞ツアー 【17名参加】
- ★6月14日 栗園(クマの生息地)の草刈りと植樹(コナラ・クヌギ7本) 【8名参加】
- ★6月21日 富山県へ苗木取り。亀田さんが育てた苗木100本を頂いてきました。
亀田さんの意志を継いで、今後会津の山へ植樹していく予定です。 【5名参加】
- ★6月24日 柿の木の摘果。
ふくまつのおやつ用干し柿にする為、たくさん実を付けた枝から2~3個実を残し
あとは切り落としていきます。今年、3月ごろに剪定した枝には思いのほか
実が付いておらず少々ガッカリ。柿栽培の難しさを感じました。
その後、畑(ふくまつのエサ用じゃがいも、サツマイモなど)の草むしり。
オリのプール清掃、遊び場の土耕し。 【5名参加】
- ★6月28日 「博士山ブナ林を守る会」主催の植樹会に参加。会津美里町蓋沼公園内に苗木
(ミズナラ、コナラ、ブナ40本)を植樹しました。周辺の木々はカシノナガキクイ
ムシにやられ総枯れの状態でした。森の荒廃は深刻です。 【4名参加】

活動に参加してくださった方々、本当にお疲れ様でした。今後もたくさんの方々の参加をお待ちいたしております。



詳しくは くまんち(くまの家)web をご覧下さい。

<http://www10.ocn.ne.jp/~koguma/index.html>